

# 教育研究業績書

2024年05月20日

所属：看護学科

資格：助教（臨床）

氏名：金井 貴子

研究分野	研究内容のキーワード
老年看護学	看護師の職場環境について
学位	最終学歴
修士	大阪教育大学大学院教育学研究科健康科学専攻

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>1 教育方法の実践例</b>		
1. 成人看護学実践実習Ⅱ（慢性期）	2021年9月2024年3月	太成学院大学の助教として臨床実習において慢性期の患者を通して看護展開を行い必要な看護の実施指導を臨床指導者と連携しながら行った。臨地実習を通して学生が看護に必要な知識・技術を獲得できるように指導を行った。コロナのため学内実習となった学生に対しては、事例を作成し臨床と乖離が起きないように看護展開を用いて必要な看護について指導を行った。
2. 成人看護学援助論Ⅱ（慢性期）	2021年9月2024年3月	太成学院大学の助教として成人看護学領域の代表的な慢性期の疾患と看護について講義、グループワークを行った。また、血糖測定・インスリン手技に関する演習の準備・運営を実施。事例を用いて看護過程の講義を行い添削なども行った。講義期間中、学生の知識向上・定着に向けて小テスト及び学期末試験の作成・実施・評価を実施。
<b>2 作成した教科書、教材</b>		
<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
1. 新人研修担当メンバー	2015年4月2019年3月	大阪急性期・総合医療センターの看護師として、新人看護師に対して行う年間の中央研修の計画立案・準備・指導を行った。
2. 臨地指導者担当会のコアメンバー	2013年4月2015年3月	大阪急性期・総合医療センターの看護師として、臨地指導者会議で各病棟で行われている臨地実習での指導に関しての悩み・不安などを話し合い解決に向けて取りまとめを行った。
<b>4 その他</b>		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>1 資格、免許</b>		
1. 看護師免許		
<b>2 特許等</b>		
<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
1. 大阪急性期・総合医療センターにて副師長として勤務	2018年4月2021年6月	病棟スタッフの勤務管理（シフト作成）を実施。精神科実地指導対応。I看護助手と看護師との連携に関しての毎月会議の運営実施。また、病棟スタッフ全員の育成記録に沿って面談を実施し年間目標到達に向けて援助を行った。
<b>4 その他</b>		

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>1 著書</b>				
<b>2 学位論文</b>				
1. 子どもをもつ看護師のポジティブスピルオーバー	単	2020年3月		本調査において、子供を持つ看護師のポジティブスピルオーバーを明らかにすることを目的としアンケート調査を行った。子どもをもつ看護師を対象に、「仕事役割と家庭役割間のスピルオーバー尺

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
2 学位論文				
				<p>度」を用いてポジティブスピルオーバーに焦点を当て末子の年齢、調査対象者の年齢、性別での差異を検討した。また、両役割間において実際のポジティブな影響は何かを自由記述としカテゴリー化を行った。結果、子供の年齢末子の年齢、調査対象者の年齢、性別での差異を検討したところ、それぞれで差異は認められなかった。またカテゴリー化では、「仕事→家庭のポジティブスピルオーバー」に関して【母子看護の技術の向上】【職場教育方法の変化】【忍耐力の向上】【コミュニケーションの変化】【仕事の効率化】の順に多かった。「家庭→仕事のポジティブスピルオーバー」に関しては、【家族（自分も含めた）への看護提供】【子育てに関する知識向上とコミュニケーション変化】【時間管理の効率化】【家族関係の再構築】の順に多かった。</p>
3 学術論文				
その他				
1. 学会ゲストスピーカー				
2. 学会発表				
3. 総説				
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
6. 研究費の取得状況				
学会及び社会における活動等				
年月日		事項		